

離れた場所にある取り扱い危険物を簡単・安全『液化窒素の残量確認』

■課題

液化窒素は、医療現場では凍結治療などに使用されています。一方で、超低温なので凍傷の危険性などもあり、管理はかなり難しいものになります。性質上、常に少量ずつ気化し減っていくので、保存容器の残量をこまめに確認することになりますが、保管環境としては、セキュリティを厳重にすることも必要になります。

■概要・期待効果

管理室から離れた場所にある貯蔵タンクの残量データを無線で集計。集められたデータはサーバへ送られ、WEB ブラウザからグラフや帳票などで閲覧できるようになります。危険物を直接見る必要がなく、遠隔から安全に監視が可能になります。また、異常が出た場合は、警報メールが届くので緊急で点検することができます。

